

「萬國社會黨は五月一日を選びて、階級的自覺を有する萬國の労働者が、其の業を休んで示威運動を行ふべき日と定めたり。此示威運動たるや、資本家制度に對する定時の警告にして、労働階級は是に依りて其解放を追求するの確乎たる信念を表明し、併せてこの信念が國際戦争の如き誘惑物に依りて、決して惑亂せられざるを宣言するもの也。この統一運動は、萬國の平民一致結合するに於て始めて勝利を得べく、又労働階級をして平和と自由とを全世界に賦與せしめ得べきものなり。各國の團結せる労働者は、法定の最長労働時間を一日八時間に限るを以て、自己階級解放の根本條件の一なりと思量し、労働組合の活動と立法的手段とに依りて之を略取し得べしと信ず。(中略)産業愈々發達すれば其結果は労働者を結合し、其の労働を劇甚にし、生産状態を單一にし、以て此時間の制限を愈々必要に、愈々容易ならしむるの傾向を作る。八時間労働がよく労働力に新活氣を興へ、人種の衰弱を防止し、及び平民大多數をして人類の智徳的生活に入らしむるの手段たり得ることは、今や益々明白となれり。(中略)吾人は労働者が此の切迫せる示威運動に参加して、以て此希望を實現せんと欲する彼等の意思を更に鞏固にせんことを希望す。

五月一日に於て休業せよ!

五月一日に於て示威運動を行へ!

労働を祝福せよ!

(「解放」所載山田菊枝氏論文中より)